

株式会社アイピーオー

針のいらないレコードプレイヤー「レーザーターンテーブル」の開発

開発のねらい

レコード盤は、世界で300億枚くらいが温存されているといわれ、2010年4月度には、アメリカにおいてレコード盤の売上がCDに近づいたとの情報もあり、アナログレコード盤の回帰現象が世界中で起きている。レコード盤は、針でレコードの溝部に接触し音楽再生を行なっているが、長年使用すると溝部が磨耗し、原音再生ができなくなる。本開発のねらいは、非接触の音楽再生であり、古くなったレコード盤でも簡易に再生できる。

開発の概要

レーザーターンテーブルは、20年前に研究所レベルの製品開発が行なわれたが、それ以来一度も製品改良がなされたことがなく、現代の光学技術や制御技術とはかけ離れたものとなっており、高価格である。

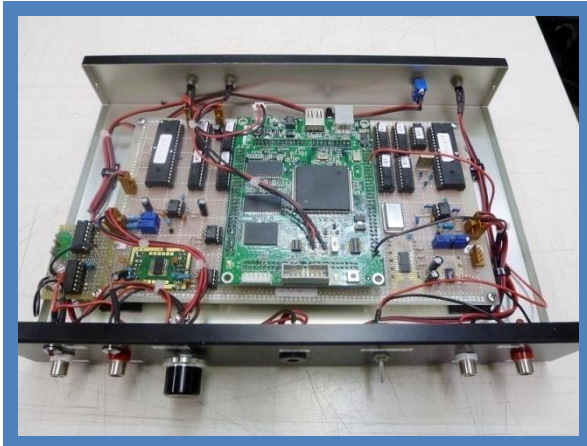
本開発は、現代の光学技術、制御技術、音声再生技術、ノイズ制御技術、モーターコントロール技術、磁気制御技術を活用し、古くなったレコード盤でも原音で低ノイズな音楽を再生できる低価格なレーザーターンテーブルを開発することである。

特長

針式レコードプレイヤーは、針でレコード盤の溝を接触で操作し音楽再生を行なっている為に長年使用すると接触式のために、溝部が磨耗し、原音再生ができなくなる。本製品は非接触読取の為、周波数特性が良く、クロストークがなく、動的ワウフラッターが生じない。

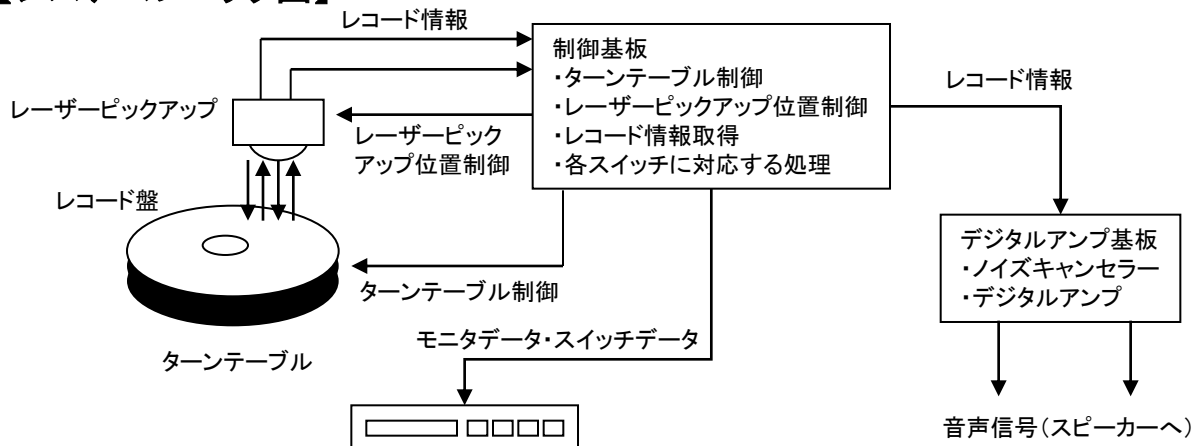
用途

レコード盤は、世界中に300億枚以上温存されている。本開発は、大幅な耐ノイズ性、低コスト化を実現することにより、世界中の愛好家に広く使ってもらおう事を目標にしている。



○デジタル信号処理実験装置

【システムブロック図】



お問い合わせ先

【所在地】 〒338-0001 埼玉県さいたま市中央区上落合2-4-2-613

【連絡先】 TEL.:048-859-7317 FAX:048-859-7318 E-mail:info@iponet.jp

